



きょうの紙面

松戸市／225施設LED
化リース方式など提案 2

アクアライン交通円滑化
より効果的な料金体系へ 2

東京都競馬／市原81ha
トレセンに28年着工へ 2

県総合リハビリテーシ
ョンセンター建築2期 8

吾妻公園文化芸術施設
建築は予定価格60億円 7

あづま学園／ホーリネ
ス幼稚園本館整備工事 7



田中市長 (前列中央) を囲んで記念撮影

市川市 2026年度建設施工業者表彰

中川組・稲葉商店などに栄誉



受賞者は市の誇り

田中市長あいさつ

本日お集まりいただいた皆さまは市の誇り。2025年度は172件の工事を発注した。市民のために素晴らしい工事を継続していくことに、心から感謝申し上げる。

今後、インフラ整備の重要度はますます高まってくる。今後も、現場で皆さまの高い技術力を発揮していただき、多くの市民に喜ばれる市を共につくっていき

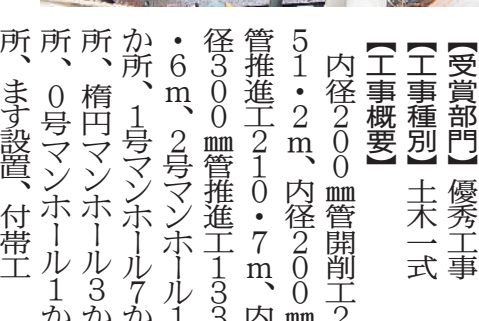
受賞者を代表してあいさつに立った上條建設の上條和彦代表取締役は、受賞できたのは、発注者の皆さまをはじめとする多くの関係者の温かい指導、協力、鞭撻の賜物」とし、「今後も凡事徹底に努め、なお一層の努力を重ね、精進する」と決意を語った。

表彰は、市が発注した建設工事を優良な成績で完成させた市内の施工業者をたたえることにより、建設業者の育成と施工技術・意欲の向上を図ることを目的に、1978年度から実施している。49回目となる今年度は、市内建設業者が2025年度に完成させた請負金額250万円以上の建設工事172件の中から選定した。

- 【優秀工事】
 - ▽上條建設 行徳公会堂天井等改修工事
 - ▽サンライズグリーン 京成本線野駅北側緑地植栽工事
 - ▽大市産業 急傾斜地崩壊対策工事 (大野町三丁目)
 - ▽三徳建設 市川第4処理区分区汚水管渠布設工事
- 【優良工事】
 - ▽友信電気 塩焼小学校受変電設備改修工事
 - ▽第一セントラル設備 考古博物館空調設備改修工事
 - ▽稲葉商店 北方保育園園舎解体工事



完成



推進工事の様子

県 来年6月頃に将来像とエリア活性化目指し検討会

県 県土整備部は2日、「第1回千葉みなとエリアの活性化に向けた検討会」を千葉市内のオークラ千葉ホテルで開催した。さまざまな関係者の連携により千葉みなとエリアの課題を解決するため、「ブランドデザイン」を2027年6月頃に策定し、27年度からブランドデザインに基づき取り組

た、専門的知見や地元の立場からの助言を求める。活性化を検討するのは、千葉みなと駅周辺部から千葉ポートパーク方面への面的な広がりを持つ範囲。このうち、ブランドデザインは、県立美術館、さんばしひろば、千葉ポートパーク、千葉みなと駅など周辺施設が集積するエリアを対象とする。千葉駅周辺(都

心機能や製造工場群・物流拠点(産業機能)からの利用も念頭に置く。ブランドデザインにおける先行プロジェクトとして、千葉ポートパークへの「みなと緑地PPP制度」など新たな官民連携手法の導入などを位置付ける。導入に向けては、事業者プレヒアリングや、千葉銀行とともに10月に開催する

「26年度PPP/PEI地域プラットフォームにおけるオープン型サウンディングを経て、27年1〜3月に事業者サウンディングを実施。27年度から28年度半ばまで、28年度以降、事業者による収益施設の設置などを進める。PPPによる新たな管理運営については、また、千葉みなとの知名

共同事業者による現行の指定管理期間(4月1日〜29年3月31日)の終了後に開始する。公共による緑地や施設の整備など千葉みなとパークのリニューアルについては、27年度上期までに全体の概略設計をまとめた上で、先行エリアの詳細設計と工事を進めていく。

今後は▽第2回(12月、27年1月頃) 将来像・機能・取り組み方針の意見集約、ブランドデザインの項目議論▽第3回(3月頃) 27年度上期までに全体の概略設計をまとめた上で、先行エリアの詳細設計と工事を進めていく。

JERA 3者共同で2兆円投資 千葉火力に国内最大DC

(株)JERA(東京都中央区日本橋2-5-1)は1日、千葉火力発電所敷地内で最大出力40万kWのAIデータセンターの開発を進めることを明らかにした。単一拠点では国内最大規模となる。アメリカの総合IT企業Deer Technologies(デル・テクノロジーズ)と、イギリスに本社を置くAIクラウド企業RHELM Holdings(レラム・ホールディングス)との共同で計画を推進し、2028年ごろの運用開始を目指す。用地、電力インフラ、施設建設など、総投資額約2兆3000億円以上を見込んでいる。

同日、デルおよびレラムと日本のAIインフラ開発・展開能力を融合し、発電加速に向けた連携に関する覚書を締結した。可児行夫・代表取締役会長兼Global CEOは「3者それぞれの強みを



型電力供給を受けることで、従来の電力系統接続型データセンター開発と比べて早期のAIコンピュテイング容量の提供が可能となる。同日、デルおよびレラムと日本のAIインフラ開発・展開能力を融合し、発電加速に向けた連携に関する覚書を締結した。可児行夫・代表取締役会長兼Global CEOは「3者それぞれの強みを

度向上や広域からの集客が期待できる道の駅制度の導入についても検討する。熊谷俊人知事は冒頭、「千葉みなとエリアのさらなる魅力向上を図るため、施設の老朽化などの課題が生じている千葉ポートパークの再整備を契機とし、県、千葉市、地域の企業などの連携によりエリアの将来像の実現に向けた取り組み方針などを示すブランドデザインを策定する」と説明した。

座長には、木下剛・千葉大学大学院園芸学研究院教授を選出した。

委員からは「誰のために整備を行うのか」という視点の明確化を求められたほか、千葉都市モノレールをはじめ、千葉みなと周辺における豊富な交通手段の有効活用を期待する声があった。

今後は▽第2回(12月、27年1月頃) 将来像・機能・取り組み方針の意見集約、ブランドデザインの項目議論▽第3回(3月頃) 27年度上期までに全体の概略設計をまとめた上で、先行エリアの詳細設計と工事を進めていく。

また、千葉みなとの知名



代表取締役 菅井 詠津子

〒272-0815 市川市北方 2-18-10
TEL: 047-334-5065 FAX: 047-334-5071



株式会社 稲葉商店

代表取締役 稲葉 清一
取締役社長 松本 篤

本社 〒272-0834 市川市国分 7-1-1
事務所 〒272-0832 市川市曾谷 8-20-11
TEL: 047-371-5906 FAX: 047-372-3888



HPへ